

疑問《なぜ?》が感動《へえー!》に変わります。
新しい「常識」のかたちがここに。

コドモの常識 ものしり事典

全3巻

監修 / 荒俣 宏



日本図書センター

この本の特徴



- 1 さまざまな疑問をビジュアルに解決
各巻のテーマごとに設けた疑問を、写真やイラスト入りの解説で、楽しく考えていくシリーズです。日本と世界のことばの新知识、地理の謎、生きもののふしぎなど、最先端の情報をおりまぜながら紹介します。
- 2 Q&Aのスタイルで興味をひろげる構成
疑問の周辺にある幅広い情報から、答えを考えるのに役立つ知識を紹介。脳を動かして考えながら読みすすめられる構成です。疑問を伸ばし、深く知識をほりさげていくための関連コラムや「ミニ常識」も楽しめます。
- 3 「知り」「考え」「味わい」、何度でも読める本
知識の枠を制限せず、専門的な内容までふみこんで紹介。「知」を獲得する楽しみを身につけ、柔軟な思考力を育むために、味わえる内容になっています。国語、社会、理科などの学習にも役立ちます。
- 4 巻末には索引、見返しには検定試験つき
小学校中学年から中学生までをおもな読者対象としていますが、おとなも一緒に楽しめる内容です。漢字にはすべてよみがなを付しており、巻末には巻ごとの索引を、見返しには検定試験問題(*)をつけました。

*本書を楽しむための問題です。

世界にある「負の世界遺産」



さあ、「知」の森をいっしょに探検しよう!

Q 日本にも、最強の肉食恐竜 ティラノサウルスはいたの?

A 1978年、岩手県で化石が見つかるまで、日本には恐竜はいなかったと考
れていました。しかし、その後も日本各地で化石が発見され、2009年には
兵庫県でティラノサウルスの仲間と見られる恐竜の歯が発掘されました。これらの発見
から、日本にもティラノサウルスがいた可能性が高まっています。

☆印は
この項で
いちばん重要な
ポイントを
示す

●化石が続々と発見される! 中国はアジアの「恐竜大国」



写真提供: 福井県立恐竜博物館
(写真は北米で発見された化石をもとに復元されたもの)
化石をもとに復元されたティラノサウルスの骨組み。

20世紀後半から、中国全土で恐竜の化石が続々と見つかりました。2008年には山東省東部の諸城市郊外で、なんと7,600個以上の恐竜化石群を発掘。ティラノサウルスをはじめ、アンキロサウルスやコエルルスの化石が確認されています。これまでに見つかった化石の数と種類は北米に匹敵するほどです。中国はまさしく、アジアにおける「恐竜大国」といえるのです。

●かつて日本と中国は同じ大陸だった!

◆超大陸「パンゲア」



今から約2億5,000万年前、世界中の大陸が一体となって「パンゲア」という超大陸を形成してしましました。日本も現在の中国と地続きで、大きな大陸の一部でした。それから約1億年後、パンゲアは分裂し、少しずつ現在の大陸の姿へと変わっていったのです。今も世界の各大陸は、年間数センチの単位で動き続けています。アジアの恐竜大国と地続きだったので、日本で化石が発見されても不思議ではありません。

◆生物の歴史 (約2億9,000万年前～現在)

年	時代	おもな出来事
約2億9,000万年前～2億5,000万年前	ペルム紀	生物史上、もっとも大きな絶滅が起こった。
約2億5,000万年前～2億年前	三畳紀	恐竜が生まれたのはこの時代と考えられている。
約2億年前～1億4,000万年前	ジュラ紀	恐竜の種類が劇的に増えていった。
約1億4,000万年前～6,500万年前	白亜紀	恐竜が栄え、後期にティラノサウルスが現れた。
約6,500万年前～180万年前	第三紀	ほにゆう類や鳥類などの生物が繁栄した。
約180万年前～現在	第四紀	人類がめざましい繁栄を遂げ、現在にいたる。

*地層から見つかった化石をもとに、時代が分けられました。

★福井県や兵庫県などでも恐竜の化石を ◆日本にいたおもな恐竜



- 福井県勝山市
フクイサウルス
イグアナの仲間。頭や体の骨を発見。
- 福井県宮田町 (現在は喜多町)
フキノサトウリュウ
大型肉食恐竜の仲間。歯の一部を発見。
- 兵庫県丹波市
ティラノサウルスの仲間。歯を発見。

最強の肉食恐竜ティラノサウルスが日本にもいた可能性が高まっている!

1989年から福井県勝山市ではじまった発掘調査で、恐竜の頭や体の骨がたくさん発見されました。これらの化石をもとに復元された恐竜は、フクイサウルスとよばれています。ほかにも、岩手県や群馬県、福岡県など、日本各地で恐竜の化石が続々と発見されています。そして2009年、兵庫県丹波市でティラノサウルスの仲間と見られる恐竜の歯が発見されました。歯の長さは1.8cm、幅は0.6cm。このサイズから、体の大きさは約5mと推定されています。また、福島県広野町でも肉食恐竜の仲間と見られる恐竜の骨が発掘されており、フタバリュウとよばれています。近い将来、日本でもティラノサウルスの頭や体の骨が発見されるかもしれません…。

ティラノサウルスの

- 大きさ: 約14m
- 長さ: 最大で6トン
- 食性: 肉食
- 日本名: 暴君竜

今から約6,500万年前(白亜紀)、恐竜は絶滅してしまの衝突です。大気中に大量のちりが飛び散り、地球上のすべてが凍ったというもの。これらの変動が、地球上のすべて



関連情報を「ミニ常識」として紹介

森をいっしょに探検しよう!



最強の肉食恐竜 ケルスはいたの?

で、日本には恐竜はいなかったと考
各地で化石が発見され、2009年には
竜の歯が発掘されました。これらの発見
性が高まっています。

☆印は
この項で
いちばん重要な
ポイントを
示す

国はアジアの「恐竜大国」

20世紀後半から、中国全土で
恐竜の化石が続々と見つかりま
した。2008年には山東省東部の
諸城市郊外で、なんと7,600個
以上の恐竜化石群を発掘。ティ
ラノサウルスをはじめ、アンキ
ロサウルスやコエルスの化石
が確認されています。これまで
に見つかった化石の数と種類は
北米に匹敵するほどです。中
国はまさしく、アジアにおける
「恐竜大国」といえるのです。

産だった!

生物の歴史 (約2億9,000万年前～現在)

年	時代	おもな出来事
約2億9,000万年前～ 2億5,000万年前	ペルム紀	生物史上、もっとも大き な絶滅が起こった。
約2億5,000万年前～ 2億年前	三疊紀	恐竜が生まれたのはこの 時代と考えられている。
約2億年前～ 1億4,000万年前	ジュラ紀	恐竜の種類が劇的に増え ていった。
約1億4,000万年前～ 6,500万年前	白亜紀	恐竜が栄え、後期にティ ラノサウルスが現れた。
約6,500万年前～ 180万年前	第三紀	ほにゅう類や鳥類などの 生物が繁栄した。
約180万年前～ 現在	第四紀	人類がめざましい繁栄を 遂げ、現在にいたる。

※地層から見つかった化石をもとに、時代が分けられました。

福井県や兵庫県などでも恐竜の化石を発見!

◆日本にいたおもな恐竜



フクイサウルスの生体
●大きさ: 約4.7m
●食性: 草食
●日本名: 福井竜

ワキノサトウリュウ
大型肉食恐竜の仲間。
歯の一部を発見。

最強の肉食恐竜ティラノサウルスが 日本にもいた可能性が高まっている!

1989年から福井県勝山市では
じまった発掘調査で、恐竜の頭
や体の骨がたくさん発見されま
した。これらの化石をもとに復元さ
れた恐竜は、フクイサウルスとよ
ばれています。ほかにも、岩手県
や群馬県、福岡県など、日本各地
で恐竜の化石が続々と発見されて
います。そして2009年、兵庫
丹波市でティラノサウルスの仲間
と見られる恐竜の歯が発見されま
した。歯の長さは1.8cm、幅は
0.6cm。このサイズから、体の大
きさは約5mと推定されています。
また、福島県広野町でも肉食恐
竜の仲間と見られる恐竜の骨が発
掘されており、フタバリュウとよ
ばれています。近い将来、日本で
もティラノサウルスの頭や体の骨
が発見されるかもしれません…。



ティラノサウルスの生体
●大きさ: 約14m
●長さ: 最大で6ト
●食性: 肉食
●日本名: 暴君竜

常識

今から約6,500万年前(白亜紀)、恐竜は絶滅してしま
いの衝突です。大気中に大量のちりが飛び散り、地球全
下降したというもの。これらの変動が、地球上のすべて

関連情報を
「ミニ常識」
として紹介

恐竜と化石

この項の
テーマを
示す

各巻に
21のQとAを設け
見開きでコンパクトに
わかりやすく
解説

イラストや
写真を多数用い
理解をビジュアルに
助ける

おとなは、こどもよりたく
さんのことを知っています。
でも、じつはこどもに質問さ
れるのが苦手なのです。晴れ
た日は青空になると知ってい
ても、「どうして青いの？」
という質問に困ってしまうの
は、空のひみつがわかっていないからです。そう、おとなが
「知るだけ」ですませていることを、こどもはわかろうとす
るのです。この本は、まさしく、わかることのすばらしさ、
おもしろさを教えてくれます。こどもたちにもともとそなわ
っているふしぎを発見する力や好奇心を育てるのに本書を役
立ててもらえたら、大変うれしく思います。



Q 「漢字の成り立ちはこわい」 って聞いたけどホント?

A 部首を調べるには、漢字のもとをたどる必要があります。漢字のもとになったのは、中国の殷の國でつくられた甲骨文字。殷では國の大事なことはうらないで決めていました。うらないには人間のいけにえがささげられ、甲骨文字はその記録に使われたのです。だから、漢字の部首にはこわいものがあるのです。

●部首にはこわいものがある!
部首は漢字をつくるもとになる部分のこと。「海」の「氵」(さんずい)、「漢」の「氵」(うかんむり)などです。とどろが、部首には「尸」(しかばね)、「鬼」(おに、きによう)など、なんだかこわいものがあります。「しかばね」は死体、「鬼」はゆうれい。どうしてこんな部首があるのでしょうか?

●漢字のご先祖さまは甲骨文字
漢字は中国でつくられた文字です。漢字のものを形をたどっていくと、殷の時代の甲骨文字までさかのぼります。甲骨文字は今の漢字とはだいぶ形がちがいますが、これでもりっぱな漢字のご先祖さまです。

●殷では人間もいけにえにささげられた!
殷は約3,000年前に黄河のほとりにあった國です。殷では大事なことはうらないで決められました。うらないはいけにえをささげ、火にくべた動物の骨やこうらにできたひびの形から神様の考えを読みとるものです。このいけにえには、人間も使われていました。そのいけにえは、いけにえにされた人です。その死体は、いけにえにされた人です。



★こわい部首は、こうしてできた!

こわいものから部首ができていく様子を見てみましょう。

「鬼」(おに、きによう)
もともとは、死んだ人のたましいを意味する文字。大きくおそろしい顔をしたゆうれいがおどっている姿からできた字です。
●この部首の漢字 魁・魁

「血」(ち)
皿に入った血をあらわしている文字。別にくわなくいと思ふかもしれませんが、その血はいけにえの動物のものなのです。
●この部首の漢字 衆

「尸」(しかばね)
人間の死体が横たわった姿をかたどった文字。死体に関する文字をつくりまします。「屍」は遺体を置いておく建物のことです。
●この部首の漢字 屍・屍

●部首には3種類の「月」がある!

「月」や「肉」の「月」は「つき、つきへん」とよばれ、夜間にうかがふ月をかたどった部首です。それに対して、「肉」や「肉」の「月」は、形は同じでも「肉」の字の形が変化してできた部首で「肉づき」とよべます。たしかに肉にかんする字が多いですね。さらに、「肉」や「肉」はもともと「肉」が変化したもので、「肉づき」とよべますが、たまたま、小さな部首では「つきへん」といってなっています。書き分けする必要はありませんが、覚えておくとおもしろいでしょう。

囲みの
コラムでは
テーマに関する
知識を幅広く
紹介

各巻内容

第①巻 ことばと文化のふしぎQ&A

日本と世界のことばに関する新知識や漢字の成り立ち、地域による文化の違いなどを幅広く紹介。



- Q ウサギはどうして「一わ、二わ」と数えるの？
- Q 「こんにちは」は、どうして「わ」でなく「は」なの？
- Q 中国語で「ホットドック」は「熱犬」!?
- Q 敬語って、外国語にもあるの？



第②巻 暮らしと歴史のふしぎQ&A

地理と歴史に関する謎、社会のしくみについての根本の疑問からエネルギー資源や世界遺産都市といった近年話題のテーマも紹介。



- Q 富士山のてっぺんは静岡県？ それとも山梨県？
- Q 世界でいちばん長い川は？
- Q なぜ「負の世界遺産」とよばれる遺産があるの？
- Q 江戸時代に苗字がついていたのは武士だけってホント？



第③巻 生きものと科学のふしぎQ&A

動植物の生態や自然現象のふしぎからアレルギーのしくみ、CO₂と温暖化のメカニズムまで最先端の情報もりこんで紹介。



- Q シマウマの毛はどうしてシマシマなの？
- Q 地球上で一番速い動物は？
- Q 重たい飛行機が飛べるのはなぜ？
- Q スポーツウエアやシューズで記録が変わるのはなぜ？



*Qは抜粋です。また、Qの文章は変更になることがあります。



推薦します！

中村桂子(JT生命誌研究館館長)

そんなの常識だよ。おとながよく使う言葉です。大勢の人が一緒に暮らすには、知識や約束事を共有していなければなりませんから、「常識」は大事です。でも、「冬は寒い」は日本では常識ですが、南半球では通用しません。恐竜は日本にはいなかったとされてきましたが、近年各地で化石が発見されています。世界が広がり、知識が新しくなってきたなかで、もう一度常識を問い直すと面白いことが見えてきます。「ふしぎ」大好きの気持ちをフル回転させて基本の基本に「なぜ」をぶつけ、この本を開くと、意外な答えが見つかると思います。本にないことがあったら、自分で答えを探してみると、さらに楽しくなるでしょう。





「なぜ」から始まる「知」のワンダーランド!

子どもの常識 ものしり事典

全3巻

監修：荒俣 宏

揃定価9,450円(揃本体9,000円+税)

各巻定価3,150円(各巻本体3,000円+税)

A4判変型(260×210mm)・上製・各巻48頁・オールカラー

ISBN978-4-284-20160-5 NDC 031.8 2010年4月刊行

各巻構成

- ① ことばと文化のふしぎQ&A ② くらしと歴史のふしぎQ&A ③ 生きものと科学のふしぎQ&A

関連ビジュアル書のご案内

北海道から沖縄まで、郷土の名産品と食文化を知ろう!

まるごとわかる ふるさとのおもしろ食べもの百科

新刊

全5巻

監修：向笠千恵子

◆揃定価23,100円
(揃本体22,000円+税)

◆各巻定価4,620円
(各巻本体4,400円+税)

各巻56~68頁・A4判上製
オールカラー 2010年3月刊行



ISBN978-4-284-20149-0 NDC 596

各巻構成

- ① 北海道・東北・北関東 ② 南関東・甲信越・北陸
③ 東海・近畿 ④ 中国・四国 ⑤ 九州・沖縄

魚類・は虫類からほ乳類まで、特徴的な骨の動物を紹介!

ホネからわかる! 動物ふしぎ大図鑑

新刊

全3巻

監修：富田京一

◆揃定価12,600円
(揃本体12,000円+税)

◆各巻定価4,200円
(各巻本体4,000円+税)

各巻56頁・A4判上製
オールカラー 2010年4月刊行



ISBN978-4-284-20164-3 NDC 480

各巻構成

- ① 日本の動物たち ② 世界の動物たち
③ 海の動物たち

自然風景・地形から、遺跡・建造物や動植物までを訪ねます!

好評既刊

まるごとわかる びっくり! 日本ふしぎ探検百科

全3巻

監修：猪郷久義・米山勇・富田京一

◆揃定価13,860円(揃本体13,200円+税) ◆各巻定価4,620円(各巻本体4,400円+税)

A4判上製・各巻56頁・オールカラー 2009年4月刊 ISBN978-4-284-20143-8 NDC 031.8



各巻構成

- ① 自然・風景のふしぎ探検 ② 遺跡・建造物のふしぎ探検 ③ 動物・植物のふしぎ探検

日本図書センター 〒112-0012 東京都文京区大塚3-8-2 Tel.03-3947-9387 Fax.03-3947-1774 http://www.nihontoshu.co.jp

申 込 書	コードの常識ものしり事典 全3巻		揃定価9,450円(揃本体9,000円+税) ISBN 978-4-284-20160-5	書店印	ご注文数
	ご住所(〒)		TEL ()		
	お客様氏名				